



# 山中ますとしだより



平成21年11月 第2号

## 総務水道委員会の報告

私が所属します総務水道委員会が、さる11月2日に開催され、平成22年度の予算編成方針が示されました。予算編成方針について質疑しました一部をご報告させていただきます。

## ～平成22年度の予算編成で、行財政改革に必要な削減目標額は「約67億円」～

問1. 平成21年度の「行財政改革推進に関する建議」における目標とその進捗状況について。

答1. 平成21年度の収支不足額は約49億円。市税徴収アップや人件費の抑制・受益者負担の見直し・事務の再編整理及び未利用地の売却等で、約29億8千万円の対策を講じたが、不足した19億4千万円は基金の取崩しで補う。

問2. 平成22年度の予算編成で取組むべき歳出の削減目標額について。

答2. 平成22年度の収支不足額は約49億円8,000万円で、平成21年度の見直しにより約19億8,000万円削減（土地売却の10億円は減）、従って約30億円が不足。市長のマニフェストによる削減額37億円と併せると平成22年度の削減目標額は約67億円となる。

## ～徹底した行財政改革で、財政の健全化と後年度負担の抑制！～

問3. 国は、平成22年度の税収見通しを当初は約46兆円と設定。しかし、景気の低迷等により40兆円を下回る可能性も示唆。そこで、本市の平成22年度の減収見込みについて。

答3. 現在、分析を進めていますが、非常に厳しいと考えています。  
(9月末現在、個人市民税⇒約5億1,700万円+法人市民税⇒約5億6,000万円の減収が見込まれる。)

問4. 新聞報道による「建設地方債80億円」について。

答4. 平成21年度の市債総額は、約208億円＝臨時財政対策債45億円+退職手当債約23億円+合併特例債約59億円+その他投資的市債約81億円(＝80億円)

問5. 建設地方債の発行に伴う80億円の事業効果について。

答5. 約105億円の投資的事業の実施ができて地域の経済活性化に必要な公共工事等の資源となる。

私たち市民の税金です。  
徹底したムダの排除を！



発行者  
〒630-8144  
奈良市東九条町202-61  
山中ますとし市議会議員  
0742-61-7969

ただいま **介護の総点検活動** 実施中！

# あなたの声をお聞かせください

介護の充実は待ったなしです。2025年には高齢者人口が約3500万人に達し、高齢化率が約30%にも上ると予測されています。

老老介護、介護難民など多くの課題があり、今まで以上に介護施策の重要度は増していきます。

そこで、公明党は介護をより良い制度にするために総点検活動を行なっています。

あなたの声を、ぜひお聞かせください。皆様からいただいたご要望・ご意見を政策に反映させ、実現に向けて取り組んでまいります。



**アンケートにご協力を宜しくお願い申し上げます。**

※公明党ホームページからも回答していただけます。下記URLからアクセスしてください。

※期間は11/2～12/10です。

[www.komei.or.jp](http://www.komei.or.jp)

NEW KOMEI TO  
**公明党**

お問い合わせ | TEL:0742-61-7969 奈良市議会議員 山中 ますとし